

## 6号機起動工程に係る状況確認の結果

2月15日（日）、下記のとおり安全協定に基づく状況確認を実施しましたのでお知らせします。

## 記

- 1 日時 令和8年2月15日（日） 16時00分～23時00分
- 2 確認者 新潟県、柏崎市、刈羽村  
おばらとおる  
小原 徹 技術委員会座長  
（東京科学大学総合研究院教授）  
なかしまけん  
中島 健 技術委員会委員  
（京都大学名誉教授）
- 3 内容
  - ・原子炉の蒸気を用いた主タービンの起動工程と動作状況を確認
  - ・移動式炉心内計装系（TIP）の不具合<sup>\*1</sup>について、原因と対応を確認

※1 炉内の中性子検出器を校正する設備（TIP）の動作不良がみられ、調整により改善

## 専門家のコメント

## ○小原 技術委員会座長

移動式炉心内計装系（TIP）の不具合は、組織的に原因究明及び対策がなされており、原子炉の安全に問題なかったことは確認できた。

タービンの起動操作をやり直した<sup>\*2</sup>ことは、東京電力のタービン制御に関する知見が十分でないと思われた点に懸念がある。慎重に作業を進める姿勢の現れであると考えるが、経験不足を補う努力を続けてほしい。

※2 タービンの回転数が目標よりも一時的に大きくなった。回転数はこの試験における正常の範囲内であったが、異常と判断して運転員が停止させた。

## ○中島 技術委員会委員

タービンの起動操作をやり直す事態となったことは、事前の想定に甘さがあったのではないかと。しかし、安全を優先して立ち止まる姿勢は評価できる。2回目は順調に推移し、振動や油温などの検査が適切に行われていることを確認した。